

平成28年度
信州大学農学部
第3年次編入学試験
小論文
— 食料生産科学科 —

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は、表紙1枚、問題4枚(1～4ページ)、解答用紙4枚(5～8ページ)、下書用紙2枚(9～10ページ)が1冊になっています。印刷の不鮮明、問題等の脱落があった場合は、監督者に申し出てください。
3. 試験時間は、9時30分から11時30分までです。
4. 全ての解答用紙の受験番号欄に、あなたの受験番号を必ず記入してください。
5. 解答はすべて、解答用紙の指定されたところに記入してください。
6. 下書用紙は自由に使用してください。
7. 解答用紙は監督者の指示に従って提出し、他は持ち帰ってください。

過去問題は、著作権の関係で引用部分を空白にしてあります。

信州大学農学部

平成28年度 第3年次編入学試験 食料生産科学科『小論文』出題意図

【問題1】

英語の読解力を問うとともに、農業統計情報の数値を正しく読み解く力を問う。

【問題2】

日本人の食生活の特徴や嗜好の変化、栄養素の役割についての基本的な理解を問うとともに、身近な問題の解決を試みる意識を問う。

問題 1. 以下の文章は，世界統計に基づく食料生産の実態について述べたものである。文章を読んで問 1～3 に答えなさい。

引用箇所につき略

(Food and Agriculture Organization of the United Nation 編『FAO Statistic Year Book 2012』, Part 3 - Feeding the world, 2012 年, より一部改変して引用)

※引用ページ: p 178

yield : 単位面積当たりの収量 arable land : 耕作に適した土地
fallow periods : 休閑期間 staple : 主要作物 pulses : 豆類

問 1 . 下線部①に関連して、なぜそのような傾向が生じたのか、本文中から読み取れることと、考えられることを 200 字程度で説明しなさい。

問 2 . 下線部②に関連して、どのような取り組みが行われたのか、考えられることを 200 字程度で説明しなさい。

問 3 . 下線部③が生じた原因を 150 字程度で説明しなさい。

問題2. 以下の文章は、戦後の日本人の食生活の変化について述べたものである。文章を読んで問1～3に答えなさい。

引用箇所につき略

(川上美智子・高野克己編著『栄養管理と生命科学シリーズ 食品の科学総論—記入式ノートつき—』, 理工図書, 2013年, より一部改変して引用) ※引用ページ: p 6

問1. 下線部①について、いわゆる日本型食生活は、欧米型食生活よりも栄養的に優れているとされている。どのような点で優れているか、150字程度で説明しなさい。

問2. 下線部②について、動物性たんぱく質のうち、魚介類の摂取量は減少傾向にある。魚介類の消費量が近年減少している主な理由を二つあげるとともに、それらの理由を解消し、消費を促す方法としてどのようなものがあるか、あなたの考えを200字程度で述べなさい。

問3. 下線部③について、人間の栄養にとっての脂質の役割を二つあげて、150 字程度で説明しなさい。